

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆良識ある保守主義



ブログ



HP

メールは
左記を読込
して送信



インターン生募集中

インターン体験記⑧-2 佐々木愛花梨

旧岩崎邸庭園に行きました。映画でも使用されているのは見たことがありましたが、やはり実際に訪れると建築物としての歴史と美しさ、豪華さを肌で感じました。外観だけでも感動しましたが、建物内に入るとまるで明治時代にタイムスリップしたかのような気分を堪能することができ、終始感動でした。暖炉の多さと天井の装飾の細かさに特に驚きました。部屋の所々にある解説を読みながら、この建物と共に歩んできた岩崎家の方々の日本史を学ぶことができました。

洋館の空気を纏ったまま和館へと移動すると、急に和の落ち着いた空間が開いたものですから、最初は和と洋の差に気持ちが追いつきませんでした。日本庭園が広がり、日本の伝統行事を楽しんだ和室を眺めることができ、雨模様で少し沈んでいた気分が晴れました。このような癒し空間でお抹茶とスイーツを頂きながら親子連れの様子を眺め、吉田議員とインターン生と会話をしていると、時の流れがゆっくり感じられました。



昭和女子大3年生 佐々木愛花梨(第46期生)

インターン体験記⑩ 中里 叶夢



清溪セミナーの講演で印象的だったのが泉房穂氏(明石市長)の講義でした。特に障がい者の方が支える側になれるまちづくりを進めているという点です。明石市では2016年に障害者配慮条例を施行し、合理的配慮を提供するための公的助成制度の拡充を進めてきました。それらの助成制度を活用して主にハード面では飲食店における点字メニューの拡充、筆談ボードの各所への配置、簡易スロープや手すりなど設置が行われています。

ハード面での取り組みは多くの自治体でも盛んに行われていると思いますし、自分も目にする場面が多くあります。しかし、明石市ではハード面に止まらないソフト面での取り組みも熱心に進めているとの印象を受けました。B-1グランプリなどのイベントにおけるボランティアやパラスポーツの体験イベント、小学校における手話教室などを盛んに行なっているとのことでした。このように障がいに関わらず活躍できる、誰も取り残さないまちづくりを進めているそうです。

私は無意識的に障がい者の方が支援を受ける側であるという固定概念を持っていたため、これらのお話は驚きをもって受け止めました。話をよく聞いていくと、当事者の目線だからわかる課題や当事者だからできるおもてなしの形があるということで大変納得しました。市民みんなが互いに支えるという視点は、地域を問わずまちづくりの中で欠かすことのできない視点であると感じました。

玉川大学3年生 中里 叶夢(第44期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会

〒194-8520 東京都

町田市森野 2-2-22

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅 042-795-7361

FAX 042-795-2726



町田市議会議員

吉原毅 城南信金元理事長講演

清溪セミナーの講義Ⅳ：吉原毅 城南信用金庫元理事長（名誉顧問）の講演では、「脱原発」の視点が強調されました。ただし、ここでは、私が特に関心が持った信用金庫の業務内容に関して記したいと思います。



そもそも、「信用金庫」とはなにか、「銀行」とはどのような点が異なるかと言うものでした。ある意味、答えは単純で、銀行は営利を追求するし、その営利を株主への還元が目的となります。他方で、信用金庫は会員が出資した協同組織であり、それ自身が営利を追求するものではないとされています。つまり、銀行が株式会社の営利法人で、信用金庫は会員の出資による協同組織の非営利法人とされています。

銀行はとにかく制限が無く利益を生み出すことができるのに対し、信用金庫は会員の事業規模が制限されています。単純に言えば、会員になる資格は、従業員数や資本金の規模に上限があるというものです。また、信用金庫の預金は誰でも制限がないが、融資は会員を対象にするとのことでした。

思うに、事業の展開形態は地域密着と言うもので、いわゆる「地産地消」取引が最も得

意とする分野ではないでしょうか。

信用金庫は地域限定であり、名前の通り、城南信用金庫は東京の南部のそのまた限られた地域に集中展開しており、神奈川県では横浜市内に集中しています。創設時より、日本一の規模の信用金庫が城南信金でしたが、他に合併してできた京都中央（京都）信用金庫に次いで、第2位になっています。ただし、以前のニュース情報で記憶にあることで、城南信用金庫が普通銀行にならない（移行しない）金融機関として名を上げたことがありました。そうした事業内容の経営理念を理解したとは言えませんが、信用金庫の設立、運営が協同組合という思想で成り立つことがその基底にあるのではないのでしょうか。

吉原毅氏は、「相互扶助」を強調されました。資本と営利で世の中が成り立っている考える時代に、公益事業の意義を言葉に出せることが異彩だと思いました。そのことが、自治体の財政や取り組み事業とどのようなかわりを持つものかも、これから研究したいと思います。

*この日の講演には、城南信用金庫の川本恭治理事長、宮川成司 上席調査役が会場に同席され、この日の打ち合わせ等を通じて、親しく会話が出来ました。



★ 支持政党なし・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.comURL <https://yoshidaben.jp/> 動画 <https://jp.youtube.com/yoshidaben>

メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（自宅）